

新部長ご挨拶！！

平成 28 年 8 月 1 日付で琵琶湖中央病院総合診療部長に赴任しました矢田善弘と申します。

私は平成元年京都府立医科大学を卒業し、同大学の第一外科に入局しました。京都府立医科大学附属病院で 2 年間の研修後、様々な関連病院で腹部一般外科を中心に研修をおこないました。その後、市立長浜病院外科に赴任、消化器外科領域を中心に消化器癌など悪性疾患の診断、手術、化学療法などの治療から緩和ケアなどの終末医療、さらに胆石症、ヘルニア、虫垂炎、イレウスなど急性腹症などの良性疾患の診断、治療に幅広くかかわってきました。最近では、担当する患者さんの高齢化が進み、90 歳代などの超高齢者の手術症例も著しく増えてきました。鼠径ヘルニアなど比較的侵襲が小さい手術ではさほど問題になりませんが、胃癌、大腸癌などの悪性疾患や、消化管穿孔や腹膜炎などの急性腹症では、侵襲の高い手術が必要となります。悪性疾患では癌の根治術を施行したり、消化管穿孔や急性腹症では緊急救命手術を行い、大変な術後管理も経験しました。

病院スタッフと協力して急性期の治療がうまくいっても、ADL 低下による離床困難、歩行困難や嚥下障害の悪化による誤嚥性肺炎やさらに経口摂取不良による栄養障害、認知症の悪化などが高い確率でおこりました。それらのうち一つでも起こると負の連鎖がはじまります。そのため、在宅治療が困難となる例や、もともとの在籍していた施設に帰れないことが起こり、退院調整も非常に困難な例がたびたびおこりました。病院スタッフともども大変口惜しい思いをしていました。最近では、手術手技の進歩、手術機械の進歩の重要性はもちろんですが、リハビリテーションの重要性、特に早期のリハビリテーションの必要性を痛感してきました。とくに時間がゆるせば、術前から緊急手術でも患者様のレベルに応じてリハビリテーションの計画を立案し推進

すべきではないかと考えていました。このたびは、リハビリテーションをしっかりと学びたい考え、またその思いをこめてスタッフの充実している琵琶湖中央病院で働くこととなりました。リハビリテーションに関して、全くの初心者であります。いろいろご迷惑をかけると思いますが、ご指導、ご鞭撻のほど、お願いいたします。

総合診療科 部長 矢田善弘



受診される皆様の権利

1. 良質かつ適切な医療を公正に受ける権利を有します。
2. 診療についての個人情報を守られる権利を有します。
3. 病気や治療について十分な説明と情報提供を受け、医療機関・治療方法などを自らの意思で選択する権利を有します。
4. 人格や価値観が尊重され、人としての尊厳が守られる権利を有します。
5. 意識がないか判断能力を欠く場合や未成年者の場合、代行者に決定を委ねる権利を有します。
6. セカンドオピニオンや転院を求めることができる権利を有します。

受診される皆様へお願い（患者の責務）

1. 医療が安全かつ適切に行われるために、ご自身が医師・看護師などとともに医療に主体的にかかわってください。
2. 院内感染防止の取り組みにご協力ください。
3. 医療安全を確保するための取り組みにご協力ください。
4. 他の患者さんや病院職員に対して迷惑行為をしないでください。
5. その他、病院内の規則を遵守してください。